

FAX 026-227-0137

福祉で学ぶ！訪問講座 講師派遣・申込書

※必要事項をご記入の上、ご送信ください。
※講座希望日の6週間前までにお申込みください。

申込日 年 月 日

お申込者情報

Form with fields for school name, address, phone number, fax number, contact name, contact phone number, and email.

※個人情報の取り扱いについて…ご記入いただきました個人情報は、当講座のみに限定利用いたします。

訪問講座について

Form with sections for dates, target audience (age groups, protection status), lecture content, and other requirements.

※日程の調整がつき次第、追ってご連絡いたします。

フォームからお申込み

右記QRコードより申し込みフォームにアクセスし必要事項を入力してください。

メールでのお申し込み

こちらのメールアドレスに上記の内容を入力して送信してください。E-mail: vcenter@nsyakyu.or.jp



お問い合わせ

受付：平日 9:00~17:00
長野県社協 福祉人材センター【TEL.026-226-7330】 訪問講座担当【TEL.026-226-1882】



令和4年度

小学校・中学校・高校等の先生方
保護者の皆様、企業、組合、公民館活動などの研修・講座の担当者様

福祉で学ぶ！

訪問講座のご案内

講座無料



受講者(小学生)の感想より

ふくしの授業って...
ちよろ！面白い！

福祉を題材とした「学び」のお手伝いをします！

皆さまのご相談に応じて、学校等への講師派遣や、お近くの協力者の紹介、体験先の紹介など、福祉を題材とした「学び」のプログラム作りをお手伝いします。



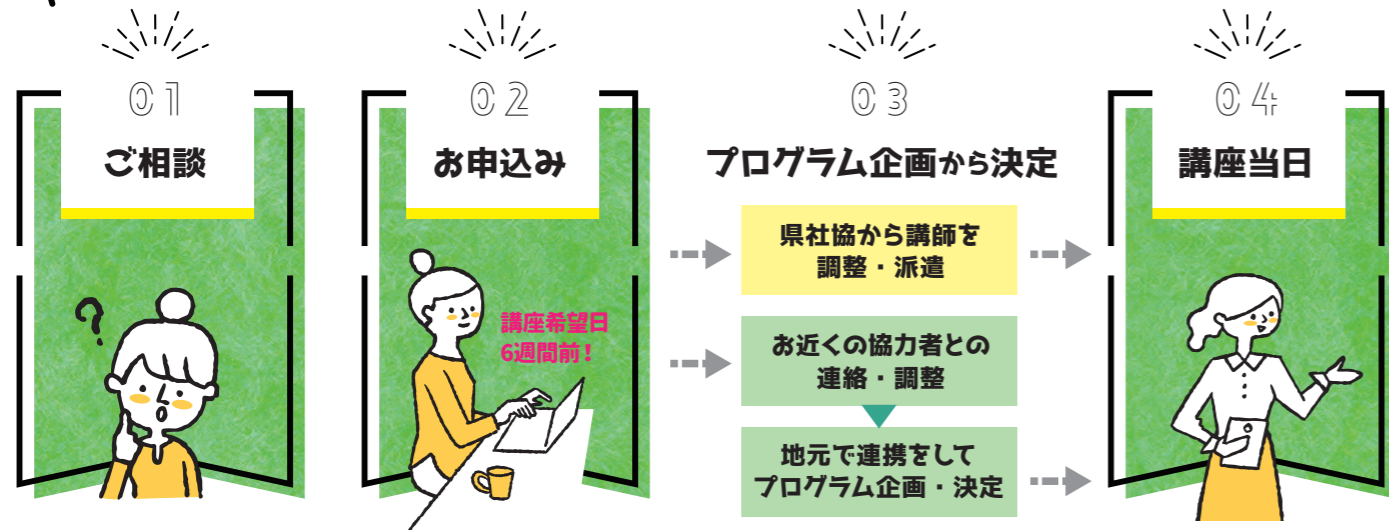
長野県社協 福祉人材センター

協力：長野県社会福祉法人経営者協議会 / 長野県介護福祉士養成施設連絡会 / 長野県介護福祉士会 / 長野県社会福祉士会

無料で「講師の派遣」「お近くの協力者紹介」「体験先の紹介」をします!

訪問講座開講までの主な流れ

※講座希望日(当日)の6週間前までにお申し込みをお願いします。



プラン内容の一例

対象者	内容	例示
テーマ① 福祉なんでも学習! 小学生 中学生 高校生 大学・専門学校生 社会人	福祉について学んだり、体験したり、様々な活動をしている人の話を聞いたりできます。	・違いを理解する、認め合う ・手話や点字から学ぶ ・自分を好きになる
テーマ② 仕事の魅力発見! 中学生 高校生 大学・専門学校生	福祉・介護に関わる様々な仕事の紹介と魅力をわかりやすく紹介します。	・福祉の仕事、資格を学ぶ ・「ふくしニア」をやってみよう! ・職業人としての心得
テーマ③ 共生・福祉の課題探求! 高校生 大学・専門学校生 社会人	探求学習の一環として、誰もが個性を活かして輝ける地域づくりを考えます。	・SDGsと共生社会 ・福祉、介護の課題解決 ・防災と福祉

さらに福祉の職場を体験

福祉・介護の仕事に関心のある方に、福祉現場の見学や業務、サービス内容を体験する機会を提供し、実際の職場を知っていただく福祉の職場体験を実施しています。進学や就職活動に役立ちますので、ぜひご参加ください。



これまでに実施したプログラム

訪問講座の様子はこちらからもご覧いただけます▶



福祉なんでも学習!
「みんな違ってみんないい」

様々な個性・マイノリティ要素を持つ人達の話聞き、これからの自分事生き方について考えました。

受講生の感想

- 僕の価値観があるんだなと知れて良かった(中3・男子)
- やってみるということが大切だと思った(小4・女子)
- 娘はピアノをやっていますが、難しい事に直面するとすぐ泣き言を言うので、そんな娘にも聞かせたかった(小学生保護者)

リモートでオンライン講座
東京パラリンピック開会式に出演した川崎さんが演奏を交えてお話ししてくれました。

福祉なんでも学習!
「ふくしニア～ふくしのお仕事体験～」

介護士、看護師、保育士、作業療法士等の仕事を体験し、ふくしの仕事への理解と関心を深めました。

受講生の感想

- 車いすの車輪が上がる所がびっくりした(小4・男子)
- 憧れていた保育士ができて嬉しかったし、楽しかった(小3・女子)
- 赤ちゃん重かったし、車イス難しかった(小3・女子)

ユニフォームを着てなりきりお仕事体験
VRを使ってよりリアルに

福祉なんでも学習!
「パラスポーツ体験」

パラスポーツの体験を通して、チャレンジ精神や人の持つ可能性を知り、今までの固定観念がひっくり返される経験をしました。

受講生の感想

- パラリンピックは凄い! バスケ以外も体験したい!(中2・男子)
- お母さんたちやみんなと楽しく出来て良かった(小2・女子)
- 本物を見てもらう大切さがよくわかった(小学校教諭)

先生と保護者も交えてポッチャ体験
車いすバスケットチームの人たちと対戦!

仕事の魅力発見!
「福祉の仕事について」

キャリア教育の一環として、福祉の仕事や資格について話しを聞いたり、仕事の模擬体験をし、将来の進路について考えました。

受講生の感想

- 福祉のイメージがガラッと変わった(中3・男子)
- 福祉関係の職業についてもいいなと思った(中3・女子)
- 改めて「介護ってすごいな」と思った(高3・女子)

介護福祉士養成校の先生がいろいろ教えてくれました。

仕事の魅力発見!
「現場の声を聞こう」

福祉現場のスタッフから仕事の様子、やりがいや魅力について話しを聞き、福祉の仕事について学びました。

受講生の感想

- 人を助ける仕事はすごいやりがいがあると実感した(高2・男子)
- 介護は力ではなく業だった(高2・女子)
- 就職してからも学び続けることが大切ということが学べた(高2・女子)

介護の専門学校に進学したOBが、寸劇で現場の様子を再現してくれました。

共生・福祉の課題探求!
「専門分野の学びを活かして、福祉課題を考えよう」

福祉の課題解決にむけた継続的なプロジェクトに取り組むため、障害当事者や施設職員の話しを聞き、アイデアコンテスト応募に至りました。

駒ヶ根工業高校
介護現場の腰痛予防のニーズから、利用者さんを床からベッドの高さまで持ち上げるリフターを考案

信州大学
介護食のとりみのつけ具合は介護現場の悩みのひとつ。それを簡単に測れるスプーンを考案